

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和6年2月13日

事業所名 サポートセンターラブラドル

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	○			感染症対策により、生活介護利用者との接触を避けるため、児童のみ過ごす、以前より広い活動スペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準を満たしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			出入りにスロープを設置しています。施設内もバリアフリーになっています。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的に職員会議や面談を実施し、業務改善に取り組んでいます。職員会議の回数を増やし、情報共有の機会を増やしていきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の方からの評価表を集計し、職員会議を開催しました。個々の事案について検討し、改善に取り組んでいます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所内に掲示とホームページに載せています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職場内研修、外部研修に参加しています。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを行い、保護者面談を実施しています。成長に伴いニーズや課題も変化するため、職員間で情報共有をし、計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			利用者様の状況に応じて、職員間で情報共有を行い、活動内容について検討しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者様の状況や体調に応じて、個別の活動を実施しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用者それぞれの課題やニーズを把握し、支援を行っています。（スヌーズレン、マッサージ、おやつ作り、お手伝い、その他行事など）
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者それぞれの特性を把握し、計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日日課担当表を作成し、支援に当たっています。その他、職員連絡ノート等を活用し、情報共有を行っています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			全体での打ち合わせは難しいため、個別に報告を受け、その後職員への情報伝達を行っています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録をとり、必要に応じて担当者会議を開催し、支援の内容を検討しています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを実施し、計画の確認や見直しを行っています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害者相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に児童発達支援管理責任者が参画しています。必要に応じて看護職員も参加しています。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			家族や学校、関係各機関と連携し、情報共有を行っております。学校からの一斉メールを受信できるようにしています
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医からの指示書や、緊急時の対応について連携をとっています。通院同行させてもらい、主治医より直接助言いただいております。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援事業所を通して、情報共有に努めています。利用前に保育園等に見学に行かせていただいております。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			サービス担当者会議等に出席し、情報の提供、共有を行っています。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修に参加しています。オンラインでの研修に参加しています。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	体調や、移動手段を考えると難しいのが現状です。また、感染症対策を優先しているため、外部への積極的な交流はしていません。
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			自立支援協議会のこども部会に参加しています。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートを活用し、保護者との情報共有を行っています。また、必要に応じて面談を実施しています。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	重症心身障害児に該当される方や、医療的ケアが必要な方が利用しているため、保護者の方から対応の仕方について教えて頂くことが多くあります。保護者の方からご要望があった時は、事業所内で支援内容を検討し、家族支援にも取り組んでいます。
保護者への説明責任等	⑳ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			サービス利用時に説明を行っています。また、連絡ノートを活用したり、面談を実施し、支援内容について説明を行っています。
	㉑ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者の方からの相談があった時は、事業者内で検討し、必要とされる情報の提供を行っています。
	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	重症心身障害児が多く、保護者の負担になる場合もあるため、保護者会の開催はしていません。父母の会も現在はありません。今年度は保護者座談会を開催しています。
	㉓ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			事業所内で事案を検討し、対応しています。
	㉔ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的な会報の発行はしていませんが、行事があった際にはお便りや写真で活動内容を発信しています。今後も活動の様子が保護者の方へ伝わるように、情報提供に努めていきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	○			注意しています。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個性が高いため、特性に合わせた意思の疎通を行うよう、心掛けています。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の方が参加できる行事を開催していないため、地域の方と交流する機会が少ないのが現状です。感染症予防の面でも交流は行っておりません。
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各マニュアルがあり、職場内研修を実施しています。また、新型コロナウイルス感染症等の感染症対策についての情報を発信しています。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に、避難訓練、心肺蘇生訓練、消火訓練、通報訓練等を実施しています。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部研修への参加、伝達研修、職場内研修を実施しています。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			安全を第一に考え、危険回避のため身体拘束が必要な場合は、保護者の方に説明し了解を得た上で同意書をもらい、放課後等デイサービス計画に記載しています。（現在1名該当者あり）
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者の方から、禁止されている食べ物や発作時の対応について聞き取りを実施し、職員間で情報共有を行っています。 1名該当者あり、エピベン使用マニュアルがあります。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業者内で共有しているか	○			過去の事例や、危険であることが予測される事について、職員間で情報共有を行っています。ヒヤリハットについては、職員がいつでも閲覧できるようになっています。